

令和元年度事業報告

自 平成 31 年 4 月 1 日
至 令和 2 年 3 月 31 日



社会福祉
法 人

瀬戸内市社会福祉協議会

○ 総務福祉（邑久本所・牛窓支所・長船支所）

1. 地域福祉活動推進事業

（1）地域福祉活動等支援事業

① 福祉委員（制度）

小地域の福祉力の維持・向上を図ることを目的に、ふれあいサロンなど地域福祉活動への参加及び運営協力、社協広報誌の配布等を通じた見守り活動、社協会費・共同募金運動の協力など、市社協・地区社協と連携・協働を呼びかけた。

■福祉委員数

	牛窓町	邑久町	長船町	合計
令和元年度	68名	206名	141名	415名
平成30年度	70名	208名	140名	418名

■福祉委員だよりの発行

2ヵ月に1回（せとうち社協通信と同時）発行し、福祉委員活動を行う上での役立つ情報を提供した。

② ふれあいサロン事業

身近な小地域の中で、住民同士の交流、健康づくり・仲間づくり等を支援した。

地区名		令和元年度		平成30年度	
		実施サロン数	延べ参加者数	実施サロン数	延べ参加者数
牛窓町	牛窓地区	5	613	5	767
	鹿忍地区	6	786	8	1,057
	長浜地区	5	1,815	5	1,870
邑久町	邑久地区	7（1）	923	7	1,054
	福田地区	5	757	5	741
	今城地区	2	249	2	315
	豊原地区	6	457	6	577
	本庄地区	0	0	0	0
	笠加地区	1	332	1	334
	玉津地区	0	0	0	0
	裳掛地区	2（1）	338	1	146
長船町	美和地区	6	656	6	908
	国府地区	10（1）	1,480 1サロン未報告	9（1）	1,666
	行幸地区	9	2,056 1サロン未報告	11	3,965
瀬戸内市全体		1	192	1	215
合計		65（3）	10,654	67（1）	12,115

※2月末から新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動自粛。

※（ ）は内新規設置サロン数

※子育てサロン：3ヵ所（福田地区：1ヵ所、行幸地区：1ヵ所、瀬戸内市全体：1ヵ所）

■サロン代表者交流会

月 日	主 な 内 容
令和元年 6月 20日 (木)	第1回：ふれあいサロン交流会（レクリエーション講座） 開催場所：ゆめトピア長船
令和2年 2月 13日 (木)	第2回：ふれあいサロン代表者連絡会（補助金について説明等） 開催場所：ゆめトピア長船

③ 地区社協及び小地域福祉活動推進支援事業

地域の様々な福祉的課題を共有及び解決するために、市社協が地区社協等で行われる地域課題に対応した柔軟な福祉活動を支援し、誰もが住みよい地域づくりの推進に寄与した。

- (1) 当該地区の会費実績40%及び共同募金実績の10%を地区社協運営費として助成
- (2) 地区社協ごとに担当職員を置き、小地域ケア会議の開催支援等
牛窓地区、鹿忍地区 長浜地区（浜区限定）
邑久地区、福田地区 今城地区、豊原地区、本庄地区、笠加地区、玉津地区、
裳掛地区 美和地区 (※3月末現在 12地区/14地区中)
- (3) 第1回地区社会福祉協議会会長会 (令和元年8月20日開催)
各地区社会福祉協議会の事業紹介・情報交換
第2回地区社会福祉協議会会長会 (令和2年2月21日開催)
地区社会福祉協議会について
小地域ケア会議について
意見交換

④ ボランティア団体・個人の支援事業

市内ボランティアの活性化を目的に、瀬戸内市ボランティア連絡協議会の定期開催等、ボランティア同士の交流や情報交換の場づくりを中心に事業推進を行った。

■瀬戸内市ボランティア連絡協議会定例会等実施状況

月 日	主 な 内 容
平成31年 4月 18日 (木)	第1回定例会：規約・事業計画・予算等について
令和元年 6月 20日 (木)	第2回定例会：ボランティア活動紹介「せとうち語りの会 うぐいす」
6月 29日 (土)	令和元年度 瀬戸内市災害ボランティアセンター設置・運営訓練
8月 8日 (木)	第3回定例会：各種ボランティア募集の紹介、助成金の活用について
9月 8日 (日)	瀬戸内市総合防災訓練(長船中学校) (瀬戸内市ボラ連協は、炊き出し訓練を担当)
10月 17日 (木)	第4回定例会：せとうち保健福祉フェスタ2019について
11月 17日 (日)	せとうち保健福祉フェスタ2019へ参加(活動紹介の実施：展示)
12月 19日 (木)	第5回定例会：笠岡市福祉ボランティア連絡協議会との交流会について
令和2年 1月 16日 (木)	笠岡市福祉ボランティア連絡協議会との交流会 参加者35名
2月 20日 (木)	第6回定例会：瀬戸内市ボランティア連絡協議会 活動冊子について

※瀬戸内市ボランティア連絡協議会定例会…偶数月第3木曜日、13：30～15：00

⑤ 夏のボランティア体験事業

市内の中高校生等を対象とした夏休み期間を利用したボランティア体験事業を行った。福祉関係の団体・施設を中心に様々なボランティア体験を通じて福祉の心を育む機会を提供した。

令和元年度参加中学校・高等学校・大学 () 内は平成30年度実績

学校名			
牛窓中学校	28名 (14名)	邑久高等学校	17名 (8名)
邑久中学校	130名 (129名)	瀬戸高等学校	1名 (3名)
長船中学校	95名 (75名)	就実高等学校	4名 (2名)
清心中学校	1名 (0名)	西大寺高等学校	1名 (4名)
白陵中学校	1名 (0名)	岡山城東高等学校	1名 (0名)
中国短期大学	0名 (1名)	備前緑陽高等学校	24名 (5名)
合計：11校 参加人数：303名		(合計：9校 参加人数：241名)	

令和元年度夏ボラ受入団体・施設 () 内は平成30年度実績

種別	名称	
高齢者 障害者施設	特別養護老人ホーム長船荘 養護老人ホーム楽々園 グループホーム邑久幸ホーム まごのて村 グループホーム星の家	地域生活支援センタースマイル にじいろスクエアせとうち
幼稚園 児童施設	牛窓ルンビニ保育園 あいあい保育園 ゆめクラブ 邑久保育園 福田保育園 今城保育園	長船東保育園 長船西保育園 長船ちとせこども園 学童保育今城っ子クラブ 裳掛こども園
その他	瀬戸内市中央公民館 瀬戸内市民病院 瀬戸内市民図書館 瀬戸内市邑久スポーツ公園	ちまち・どんどん 長船町公民館 長船夏祭り実行委員会 福岡仲崎邸
合計：26カ所		(合計：26カ所)

⑥ 福祉協力校との連携及び協働

市内の各園・学校において、園児・生徒が様々な体験を通して福祉の心を育むことができるよう支援した。

助成金額 (こども園・保育園・幼稚園：各2万円、小・中・高等学校：各3万円)

牛窓町	・保育園：ルンビニ・あいあい (2カ所) ・幼稚園：牛窓東 (1カ所) ・小学校：牛窓東・牛窓西・牛窓北 (3カ所) ・中学校：牛窓 (1カ所)
邑久町	・こども園：裳掛 (1カ所) ・保育園：邑久・福田・今城 (3カ所) ・幼稚園：邑久・今城 (2カ所) ・小学校：邑久・今城・裳掛 (3カ所) ・中学校：邑久 (1カ所) ・高等学校：邑久 (1カ所)

長船町	・こども園：長船ちとせ	(1カ所)
	・保育園：長船東・長船西	(2カ所)
	・幼稚園：国府・行幸	(2カ所)
	・小学校：美和・国府・行幸	(3カ所)
	・中学校：長船	(1カ所)

⑦ 地域福祉出張支援講座

市内小学校を中心に車いすや高齢者疑似体験セット等を使用し、実際に声の掛け方や支援方法等について授業を実施した。

月 日	学校名	内 容	
6月 7日 (金)	裳掛小学校	車いす体験	職員による出前講座
6月12日 (水)	行幸小学校	高齢者疑似体験	職員による出前講座
6月20日 (木)	邑久高校	車いす体験	職員による出前講座
6月21日 (金)	邑久高校	車いす体験	職員による出前講座
6月24日 (月)	邑久高校	車いす体験	職員による出前講座
6月25日 (火)	邑久高校	車いす体験	職員による出前講座
9月17日 (火)	邑久小学校	車いす体験	職員による出前講座
9月19日 (木)	行幸小学校	アイマスク・白杖体験	職員による出前講座
12月11日 (水)	牛窓北小学校	車いす体験・高齢者疑似体験	物品貸出のみ
12月11日 (水)	行幸小学校	総合学習発表(体験を通じて)	職員・講師による出前講座
12月17日 (火)	牛窓西小学校	車いす・アイマスク・白杖体験	職員による出前講座
2月14日 (金)	行幸小学校	福祉授業(支える側の気持ち)	職員による出前講座

⑧ 災害ボランティアセンター設置・運営訓練の開催

昨今の異常気象による災害や地震など突発的に発生する災害に備え、本会でも職員や市民が協力し、設置運営ができるよう訓練を実施した。

開催日時	令和元年6月29日(土) 10:00～15:30	
会 場	瀬戸内市総合福祉センター	
講 師	山下 弘彦 氏 (日野ボランティア・ネットワーク)	
参加者数	112名 (内 訳) 実施市町村社会福祉協議会職員 29人 他市町村・県社会福祉協議会職員 21人 市町村・県職員 6人 民生委員児童委員 4人 一般ボランティア 18人 (災ボラ講座受講生、ボラ連協) 大学生ボランティア 1人 (社会福祉実習生) 一般参加 10人 (地区社協、コミュニティ協議会) その他 23人 (老人クラブ、婦人会 他)	

⑨ 令和元年岡山県北部集中豪雨における職員派遣

9月3日の豪雨において新見市が被災したため「岡山県内社会福祉協議会における災害時の相互支援に関する協定書」に基づき、被災地社協へ職員を派遣した。

	合計
職員派遣人数	12名
派遣日数	10日間

※令和元年9月7日～10月6日まで実施。

⑩ 瀬戸内市総合防災訓練の参加

令和元年9月7日(日)長船中学校において開催された総合防災訓練のプログラムの中で、災害ボランティアセンターを設置するとともに、要援護者支援体験を防災リーダーと協働し実施。

⑪ 市外講師派遣

災害時の支援やボランティア・市民活動の活性化には、他市との連携が重要になってくるため、職員間同士のネットワーク構築や情報共有を図るため、講師の派遣を実施した。

派遣先（研修名）	人数	内容
高梁市 令和元年度ボランティア研修会	1名	瀬戸内市災害ボランティアセンター 設置・運営訓練についての報告

⑫ 各種福祉団体及び当事者団体等支援

当事者団体の自立した運営体制の確立ができるよう側面から支援を行った。

福祉課題への積極的な 取り組み	市老連活動として、介護予防等諸課題へ積極的に本会（地域包括等）と連携・協働し取り組みを推進していく。 災害復興支援事業「災害・防災について考える」講演会共催 令和元年11月9日（土）開催（ゆめトピア長船2階大ホール） 令和2年2月1日（土）開催（牛窓町公民館2階大会議室） 『平成30年7月豪雨の経験から』～地域の力を信じて～ 倉敷市社会福祉協議会 地域福祉課 生活支援コーディネーター 松本 和徳氏
--------------------	--

⑬ 日常生活用具貸出事業 令和2年3月末現在

車イス貸出し台数（出前講座含む）： 41台 （平成30年度は44台）

⑭ 社会福祉士養成ソーシャルワーク実習生の受け入れ

市内に在住している学生に限定して受け入れ、社会福祉士として必要なスキルや知識を取得できるように支援し、実践を通して社会福祉協議会の役割について指導した。

大学名	人数	受入期間
岡山県立大学	1名	25日間
ノートルダム清心女子大学	1名	25日間

（2）地域生活支援事業（*受託事業：①、②）

① 日常生活自立支援事業（岡山県社協からの受託事業）

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者等のうち判断能力が不十分な方に対し、生活支援員の協力を得て、福祉サービスの利用や日常生活に必要な金銭の管理を行った。

現在の利用状況（単位：名）

	牛窓	邑久	長船	合計
利用者	1	3	2	6
支援員	2	1	1	4

② 生活福祉資金貸付事業（岡山県社協からの受託事業）

低所得世帯・障がい者世帯等に対する資金貸付事業の相談窓口業務、申込書の受付、償還指導等を行った。「瀬戸内市生活相談支援センター」と積極的に連携し、相談業務を行った。

		牛窓	邑久	長船	合 計
新 規 借入者	生活	0	0	0	1
	離職	0	0	0	
	緊急小口 (特例)	0	1	0	
償 還 期間中	生活	6	2	8	19
	離職	1	0	2	
合 計		7	3	10	20

令和元年度 相談件数 16件（→貸付決定世帯は1件）

③ 緊急援護資金貸付事業（市社協独自事業）

生計の維持が一時的に困難で窮迫した状況にある生活困窮者に対し、本資金を貸し付け、その世帯の福祉の増進及び自立の促進を図ることを目的として実施した。

	牛窓	邑久	長船	合 計
新規借入者	0	0	2	2
償還期間中	0	0	0	0

④ 法人後見事業

市民後見人と共に成年後見人等に就任し、認知症高齢者や知的・精神障害者等の財産管理・身上監護業務を行った。

■受任状況（単位：名）

	牛窓	邑久	長船	その他	合計
受任件数	0（4）	0（2）	0（1）	0（1）	0（8）

（ ）内の数字は前年度までの受任件数と合せた合計件数

（3）広報活動事業

① 広報誌発行事業

市民の方々に、本会が取り組む様々な地域福祉活動についてより一層理解を深めてもらうため年6回偶数月に発行した。

またホームページを活用し、タイムリー情報提供に努めた。

（4）共同募金事業

① 瀬戸内市共同募金委員会運営支援事業

共同募金運営委員会を中心に各イベントや街頭での募金活動を実施し、市内に広く周知する活動支援を行った。また、募金協力員（福祉委員・行政委員等）に協力を頂き、戸別募金の呼びかけ及び集金を実施した。

■令和元年度目標額：6,300,000円

	牛窓町		邑久町		長船町		合計	
	金額 (円)	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)	件数
戸別募金	843,370	1,700	2,293,350	4,594	1,348,550	2,772	4,485,270	9,066
街頭募金			43,910	4			43,910	4
法人募金	284,000	64	539,000	99	303,500	85	1,126,500	248
学校募金			85,532	15			85,532	15
職域募金			476,600	86			476,600	86
イベント募金			38,877	5			38,877	5
その他募金			27,438	19			27,438	19
合計	1,127,370	1,764	3,504,707	4,822	1,652,050	2,857	6,284,127	9,443

② 災害義援金の募集

- ・京都府放火事件に係る被害者義援金 : 1,231円
- ・台風15号・台風19号・大雨千葉県災害義援金 : 5,374円
- ・台風19号災害義援金(岩手県、宮城県、福島県、茨城県、
栃木県、群馬県、埼玉県、神奈川県、長野県、静岡県) : 94,762円
- ・8月佐賀県豪雨災害義援金 : 4,331円

(5) 共助の基盤づくり事業 (*受託事業)

① 生活支援サポーター登録者の活動調整

■生活支援サポーター支援実績

支援内容	支援調整件数	延べ支援件数
話し相手・見守り	6	73

② 生活支援サポーター交流会

- 開催日：令和元年12月10日(火)
 対象者：生活支援サポーター登録者・おかやまコープ生活支援サービス応援者
 シルバー人材センター会員(合計23名参加)
 内容：各事業の生活支援活動について説明
 講話「たべる・たいせつ」
 交流会

③ 地域で見守りを行うための拠点づくり

民生委員の協力を得ながら親子ふれあい食堂の開催を支援した。社会福祉法人の取り組むことも食堂とあわせて、小地域ケア会議等で周知PRした。

④ みんなで支えあうまちづくりフォーラム

- 開催日：令和2年2月8日(土)
 場所：瀬戸内市保健福祉センター ゆめトピア長船 大ホール
 内容：基調講演「つながる喜び・つなげる喜び」
 講師 ご近所福祉クリエイター 酒井保氏
 実践発表 はまくっ区 : ちょっとお手伝いします!お助け隊
 円(わ)の会 : 私たちが今求められていることは?今後何が必要か
 磯上ふれあい福祉会 : 世代を超えて集える活気あるまちづくり
 牛窓紺浦地区 : うちの地区で災害の死傷者を出すわけにはいかん!

参加人数：360人

2. 法人運営・総務等事業

(1) 法人運営

① 法人運営

理事会、評議員会の定期開催、及び評議員・選任解任委員会を適宜開催し、法人の円滑な運営に努めた。

② 地域における公益的な取組み

市内社会福祉法人（13法人）が「地域における公益的な取組」の組織化に向けて定期的に情報共有、検討を行いました。

開催日	内容
4月中	市内の社会福祉法人を対象にアンケートを実施
6月7日（金）	社会福祉法人の「地域における公益的な取組」に関する情報交換会
8月29日（木）	協議会設立に向けた意見交換会 （協議会での取り組み、視察研修について 他）
11月26日（火）	先進地視察研修（美作お助け隊） 協議会設立に向けた意見交換会
1月30日（木）	協議会設立に向けた意見交換会 （協議会の愛称、会則、事業計画、設立総会までのスケジュール 他）

(2) 総務・庶務・経理

① 社協バス運行管理

社協バスを有効に活用することにより、各種団体活動の活性化及び円滑な団体運営を図り、市内外福祉施設への視察で運行した。

	サロン	団体	地区社協	社協事業	市行政	合計
令和元年度	45	14	13	3	1	76
平成30年度	41	18	13	1	1	74

② 社協会員会費

	普通会員会費	特別会員会費	合計
令和元年度	8,972,000円	1,360,000円	10,332,000円
平成30年度	9,003,000円	1,335,000円	10,338,000円

○ 地域包括（瀬戸内市地域包括支援センター） ※受託事業

(1) 総合相談・支援事業

目的：高齢者及び家族が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活をできるだけ継続していくことができるようにするため、どのような支援が必要かを把握し、地域における各種社会資源へのつながりや適切なサービス・制度の利用支援、関係機関との連絡調整等を行うことを目的とします。

実施項目

- ◇高齢者総合相談窓口／実態把握訪問等
- ◇地域包括支援ネットワーク構築

事業実績等

《総合相談対応件数 ※延件数》 ※ブランチ事業所の活動実績を含む

月	合計件数	内 訳			
		来所	電話	訪問	その他
4月	469	51	238	150	30
5月	472	58	235	150	29
6月	503	40	257	170	36
7月	442	25	222	154	41
8月	382	45	156	145	36
9月	439	58	197	149	35
10月	538	60	287	156	35
11月	473	45	248	156	24
12月	453	54	234	139	26
1月	497	46	275	146	30
2月	437	29	250	124	34
3月	551	48	292	177	34
合計	5,656	559	2,891	1,816	390

《相談内容別対応件数 ※延件数》

※内容重複有

介護相談	福祉相談	介護予防	認知症	健康相談	虐待・権利擁護	その他
2,565	477	509	936	785	441	834

(2) 権利擁護事業

目 的：さまざまな場面において、権利侵害を受けている、又は受ける可能性が高いと考えられる高齢者が、地域で安心して尊厳ある生活を行うことができるよう、予防や対応を専門的に行うことを目的とします。

実施項目

- ◇高齢者虐待の防止及び対応
- ◇消費被害の防止及び対応
- ◇判断力に不安のある方や権利擁護を必要とする方への支援

事業実績等

《内容別対応件数 ※延件数》

成年後見制度活用の促進	日常生活自立支援事業の利用支援	老人福祉施設等措置支援	高齢者虐待への対応	介護保険による契約入所等の支援	消費被害防止	その他の支援
140	4	25	105	15	25	29

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

目的：地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的なケアマネジメントが提供できるよう、地域の基盤を整えるとともに、個々の介護支援専門員等へのサポートを行うことを目的とします。

実施項目

- ◇包括的・継続的ケアマネジメントの環境整備
- ◇個々の介護支援専門員等へのサポート体制整備

事業実績等

《介護支援専門員等に対する個別相談支援件数 ※延件数》 646件

(4) 介護予防ケアマネジメント事業

目的：介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、従来の要支援認定の枠にとらわれず、日常生活に支援の必要な高齢者の心身の状況や環境等に応じて、自立した生活を送ることができるよう総合的に支援を行うことを目的とします。

実施項目

- ◇地域ケア個別会議の実施
- ◇指定介護予防支援
- ◇介護予防ケアマネジメント（第1号介護予防支援）
- ◇一般高齢者の介護予防活動への参加促進等

事業実績等

《地域ケア個別会議実施状況》

月	回数/件数	内容等
4月	1回/1件	【検討ケース】 利用者が住み慣れた地域で自立した日常生活を送るために、必要な介護保険サービスやボランティア等の社会資源の導入の妥当性について、ケアプラン原案を基に検討しました。 ◇主に以下のケースについて検討 従前の予防給付相当のデイサービス(介護予防デイサービス)の新規利用の必要性等検討 【会議構成員】 いきいき長寿課・健康づくり推進課管理栄養士・市民病院理学療法士・包括・生活支援コーディネーター
5月	2回/6件	
6月	1回/2件	
7月	2回/4件	
8月	1回/3件	
9月	1回/1件	
10月	1回/1件	
11月	1回/1件	
12月	1回/2件	
1月	2回/3件	
2月	2回/4件	
3月	1回/1件	

《指定介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの実施状況》 ※（ ）内委託分

月	プラン作成 合計件数	予防給付を含む 利用の件数	※総合事業のみ 利用の件数
4月	338 (68)	282 (60)	56 (8)
5月	339 (66)	284 (59)	55 (7)
6月	342 (67)	289 (60)	53 (7)
7月	352 (69)	300 (63)	52 (6)
8月	354 (72)	299 (66)	55 (6)
9月	348 (69)	298 (63)	50 (6)
10月	348 (67)	296 (61)	52 (6)
11月	362 (67)	312 (62)	50 (5)
12月	362 (68)	309 (62)	53 (6)
1月	359 (67)	306 (60)	53 (7)
2月	351 (64)	299 (56)	52 (8)
3月	359 (68)	310 (61)	49 (7)
合計	4,214 (812)	3,584 (733)	630 (79)

※当該月のサービス利用が総合事業（デイ・ヘルパー）のみであった場合の件数

例）デイと福祉用具レンタルの場合は従来どおり予防給付での介護予防支援になる

(5) 認知症施策の推進

目的：今後さらに認知症高齢者の増加が見込まれる現状に対し、各種事業を実施し適切な対応が図れるよう体制整備を行うとともに、地域で支え合うネットワークづくりを目指します。なお、事業実施にあたっては認知症地域支援推進員研修受講職員を中心に、市担当課との協働により推進します。

実施項目

- ◇啓発活動及び理解促進
- ◇当事者支援活動
- ◇ネットワークづくり他

事業実績等

《啓発・理解促進の実施状況》

① 認知症サポーター養成講座

月 日	団体名等	人 数
7月21日	西須恵ふれあいサロン	17名
8月 9日	一般市民向け	27名
9月 2日	北島東谷はつらつOB会	15名
9月 7日	今城小学校4年生	38名
10月 4日	市老人クラブ連合会 牛窓支部	102名
10月 8日	コンパス（一般市民向け）	23名
10月18日	せとうち家族会	29名
10月29日	邑久中学校	138名
11月 1日		
11月11日	本村ぴんころクラブ	11名
11月12日	マルナカ長船店	12名
11月20日	邑久高校	5名

認知症サポーター数 3,231名（延人数）

② 認知症キャラバンメイト連絡会

月 日	団体名等	人 数
7月29日	・新キャラバンメイト紹介 ・市の認知症事業紹介 ・今年度の予定について	24名

キャラバンメイト登録者数 52名（今年度新規7名）

《当事者支援活動の実施状況》

③ 認知症介護家族の交流会

月 日	内 容	人 数
5月 7日	座談会	5名
7月 2日	座談会・VR 認知症体験研修会	8名
9月 3日	座談会	3名
11月 5日	座談会	8名
1月14日	座談会	7名
3月 3日	座談会 ※中止	—

④ 認知症カフェ『つくしカフェ』

総合福祉センター西部屋にてボランティア“せとうちつくし隊”の協力により開催

月 日	内 容	人 数
4月 2日	茶話会・大正琴	40名
5月11日	茶話会 ※臨時開催	40名
6月 4日	茶話会・ミニ講話『熱中症について』	35名
8月 6日	茶話会・クイズ・体操他	24名
10月 1日	茶話会・悪徳商法／回想法等	36名
12月 3日	茶話会・演奏会	40名
2月 4日	茶話会・ミニ講話『薬について』	32名

上記の他、特養せとうちで行われる『喫茶せとうち』への協力や他市で開催されている認知症カフェの視察等も実施

⑤ 認知症高齢者徘徊模擬訓練

月 日	内容・実施地域	人 数
10月19日	邑久町虫明地区住民 縁路香・看護小規模多機能ホームかおりの関係者	声掛け・通報 15名 反省会 38名

⑥ 認知症初期集中支援チーム員会議への出席（トータルポータルセンター主催・月1回開催・2名出席）

（6）生活支援体制整備事業

目 的：介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、高齢者の日常生活上の支援体制の充実・強化及び社会参加の促進を一体的に図るために、生活支援コーディネーターを配置し、以下の業務を行います。

実施項目

◇高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備推進 ◇協議体との連携

事業実績等

《生活支援・介護予防サービスの体制整備状況》

- ① 体操を中心とした通いの場づくり（はつらつ教室の立ち上げ・OB会支援）

3月末時点のOB会会場数：98カ所

【今年度に開始した教室】

◇3月末までにOB会移行済	
長船北西南	尻海大土井
西須恵	中井
豆田北	真徳
市場	四軒家
小物屋	八丁
国塩	長浜西浦
長船	中東
松陽団地	
◇3月末時点教室実施中 (コロナウイルス感染拡大防止のため2月下旬～休止)	
大浦	上寺東ハイツ
栄町	中庄西東

その他、地域に呼びかけて体験会を実施

- ② 介護予防リーダー養成研修・アフター研修への協力（市いきいき長寿課主催）

- ③ 出前講座・啓発活動 ※内容によりコーディネーターと包括で職員調整

月 日	団体名等・内容	人 数
4月 9日	瀬戸ふれあい寿会	20名
5月15日	東町ふれあいサロン	16名
7月10日	西町ほがらかサロン	17名
9月12日	盛崎ふれあいサロン	13名
10月 2日	ろうきん友の会	38名

- ④ その他地域に出向いての体操指導を実施

○ **権利擁護**（瀬戸内市権利擁護センター） ※受託事業

1. 権利擁護センター運営に関する事業

(1) 権利擁護センター運営業務

- ① 運営委員会の開催

	開催日	内 容
第1回	5月22日（水）	正・副委員長の選任について 平成30年度事業報告並びに決算報告
第2回	3月25日（水）	中核機関の設置に係る協議/ 令和元年度事業報告並びに決算報告

② 支援検討委員会の開催

	開催日	内 容
第1回	4月24日(水)	委員長・副委員長の選任
第2回	6月26日(水)	新規1件 ・精神疾患を有する共依存の親子への支援 新規2件 ・経済的困窮世帯への支援 ・早期に成年後見制度申立てが必要な障害者
第3回	7月24日(水)	新規1件 ・精神疾患を有する生活困窮者への支援 継続1件 ・高齢者虐待(経済的)の終結に係る判断
第4回	8月28日(水)	新規1件 ・支援機関の介入が困難な生活困窮者(高齢者)への支援
第5回	9月25日(水)	継続2件 ・精神疾患を有する共依存の親子への支援 ・高齢者虐待の認定に係る判断
第6回	10月23日(水)	新規1件 ・医療保護入院中の高齢者の退院後の支援
第7回	11月27日(水)	新規1件 ・グループホームに入所中の知的障害者の成年後見制度申立支援
第8回	12月25日(水)	新規1件 ・市民後見人受任調整(特養入所中の高齢者)
第9回	1月22日(水)	新規1件 ・判断能力が低下している高齢者に対する支援
第10回	2月26日(水)	新規1件 ・生活困窮世帯の成年後見制度申立支援を含めた世帯支援

※継続…過去の支援検討委員会で取り上げたことのあるケース

③ 権利擁護事例研究会の開催

	開催日	内 容
第1回	4月10日(水)	本年度の研究会実施等に係る関係者打ち合わせ
第2回	5月 8日(水)	事例研究：社会的孤立状態の生活困窮者に対する地域への働きかけ
第3回	6月 5日(水)	事例研究：医療保護入院を繰り返し、障害受容ができていない精神障害者への支援
第4回	7月 3日(水)	ミニ講義：日常生活自立支援事業について(岡山県社協) 事例研究：意思伝達が困難な高齢者に対する支援
第5回	8月 7日(水)	ミニ講義：「ひきこもり」への考え方とサポートを改めて考えてみる(新名アドバイザー) 事例研究：8050問題を抱える引きこもり世帯への支援
第6回	9月 4日(水)	ミニ講義：意思決定支援ガイドラインとアセスメントシートの活用方法(竹内アドバイザー) 事例研究：救急要請を繰り返し定期受診できない高齢者への支援
第7回	10月 2日(水)	ミニ講義：成年後見の申立の実際(守田アドバイザー) 事例研究：アルコール依存症の高齢者の今後の生活支援
第8回	11月 6日(水)	事例研究：独居高齢者の生活に対する意欲を引き出す支援
第9回	12月 4日(水)	ミニ講義：権利擁護センターの業務概要について(権利擁護センター) 事例研究：娘と共依存関係にある精神障害者(高齢者)の支援
第10回	1月 8日(水)	ミニ講義：生活相談支援センターの概要と家計改善支援事業について(生活相談支援センター) 事例研究：延命治療を希望せず、支援拒否が強い高齢者への支援
第11回	2月 5日(水)	ミニ講義：認知症初期集中支援チームの活動について(保健福祉部トータルサポートセンター) 事例研究：被保佐人が抱える仕事等の課題に対する意思決定支援
第12回	3月 4日(水)	※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止

④ 高齢者・障がい者生活なんでも相談会（くらしの困りごと相談会）

日 時：9月14日（土）13：30～16：00

場 所：瀬戸内市総合福祉センター

相 談 員：地元士業及び権利擁護アドバイザー（弁護士、司法書士、税理士、行政書士、
社会保険労務士）

いきいき長寿課・福祉課、地域生活支援センタースマイル、
地域包括支援センター・生活相談支援センター・権利擁護センター

相談件数：20件

相談内容：遺言1、不動産4、相続5、成年後見2、財産管理1、借金2、
年金6、契約1、生活保護1、その他5 ※重複あり

※2回目は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止

⑤ 障がい者権利擁護研修会

日 時：10月4日（金）14：00～15：30

場 所：瀬戸内市総合福祉センター

内 容：講義「地域で虐待を防止するために

～制度が変われば、問題は解決されるのか？～」

講師 岡山県社会福祉士会 副会長 山崎 弘一 氏

参 加 者：25名（就労継続支援A・B型事業所 管理者、相談支援専門員等）

⑥ 権利擁護に関するワンストップ相談窓口業務

《受付件数・支援回数》

月	新規件数（実数）	継続件数（実数）	支援回数
4月	3	15	113
5月	5	9	116
6月	6	7	216
7月	7	14	167
8月	4	9	132
9月	4	13	235
10月	3	7	80
11月	5	8	79
12月	7	10	104
1月	9	11	94
2月	7	13	171
3月	3	13	90
合計	63	129 ^②	1597

令和元年度月平均	5.2	10.7	133.0
前年度月平均	8.5	16.3	176.8

※継続件数の合計件数は相談対象者の重複あり。

《相談内容》

月	虐待	DV	成年後見制度	介護問題	金銭問題	入院・入所問題	消費者被害	その他	月合計
4月	20	5	68	0	0	11	0	9	113
5月	22	0	73	0	10	7	0	4	116
6月	16	0	166	0	6	10	0	18	216
7月	10	0	114	0	34	4	0	5	167
8月	0	0	80	0	52	0	0	0	132
9月	25	0	132	0	75	3	0	0	235
10月	21	0	39	0	20	0	0	0	80
11月	13	0	41	0	22	0	0	3	79
12月	3	0	88	4	5	1	0	3	104
1月	9	0	56	5	8	8	0	8	94
2月	19	0	144	0	6	1	0	1	171
3月	14	0	69	0	5	1	0	1	90
合計	172	5	1070	9	243	46	0	52	1597

《支援内容・回数》

月	訪問	電話	来所	メール	ケース会議	経過報告	経過報告付随相談	所内会議	AD相談	その他	月合計
4月	1	10	0	6	12	50	28	2	3	1	113
5月	3	7	2	0	4	54	40	0	4	2	116
6月	8	7	0	0	57	77	55	8	3	1	216
7月	3	15	4	0	39	62	43	0	1	0	167
8月	1	1	2	0	40	57	31	0	0	0	132
9月	5	2	1	0	34	105	68	4	12	4	235
10月	2	0	0	0	6	51	21	0	0	0	80
11月	4	20	3	0	9	24	14	0	5	0	79
12月	10	0	4	0	10	45	27	1	7	0	104
1月	11	19	5	0	8	25	14	2	10	0	94
2月	14	23	3	0	21	41	65	3	1	0	171
3月	13	13	2	0	15	20	24	2	1	0	90
合計	75	117	26	6	255	611	430	22	47	8	1597

(2) 虐待対応業務

《虐待対応実績》

相談件数	虐待認定件数 (実数)	直接的対応 (訪問・電話・来所等)	間接的対応 (連絡調整・会議等)	終結 件数
18 (内 11 件前年度継続)	8	101	126	7

(3) 成年後見業務

《成年後見制度利用支援実績》

相談件数	直接的対応 (訪問・電話・来所等)	間接的対応 (連絡調整・会議等)	申立件数
41 (内15件前年度継続)	194	277	6

3. 市民後見推進事業

(1) 成年後見推進事業

① 市民後見人養成事業

開催日	内容	備考
7月31日(水)	市民後見人養成研修事前説明会	7名参加
8月28日(水)	選考会(書類審査・面接)	1名申込み 1名受講決定するも、受講辞退の申出

② 市民後見人バンク登録者へのフォローアップ研修

回数	開催日	内容	備考
第1回	4月19日(金)	情報交換会	9名出席
第2回	6月14日(金)	講義「社協における各部署の業務内容理解」	8名出席
第3回	8月23日(金)	施設見学(アストラ会グループホーム・にじいろスクエア せとうち)	6名出席
第4回	11月15日(金)	講義「意思決定支援ガイドラインとアセスメントシートの活用方法」 (講師:竹内俊一弁護士)	6名出席
第5回	12月11日(水)	備前市市民後見人との交流研修 ・備前市、瀬戸内市の市民後見人養成・支援について、市民後見人の活動報告	4名出席
第6回	2月14日(金)	事例報告 ・市民後見人2名の活動報告 アドバイザー 守田吉彦司法書士	6名出席

③ 市民後見人普及セミナー ※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止

(予定していた内容)

日時 令和2年3月28日(土) 13:30~15:30

場所 瀬戸内市保健福祉センター ゆめトピア長船

内容 ①成年後見落語

落語家から見た成年後見制度 ~ダウン症のアニキの後見人として~

講師:落語家 露の団六氏

②市民後見人の活動報告

進行 竹内 俊一 センター運営委員長

発表 市民後見人 3名

今後の市民後見人養成事業についてのアナウンス

質疑応答

○ 生活相談 (瀬戸内市生活相談支援センター) ※受託事業

生活相談支援センターでは、生活困窮者が抱える多様で複合的な相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行うとともに、自立支援計画（プラン）の作成等の支援を各関係機関と連携を図りながら、一体的かつ計画的に実施し、「生活困窮者の自立の促進」、「生活困窮者支援を通じた地域づくり」を目的に事業を実施しています。

1. 自立相談支援事業、家計改善支援事業の実施

① 相談事業実績

《相談実績(実数)》

月	新規相談受付 件数	自立支援計画（プラン）作成件数	
		自立相談支援事業による就労支援	家計改善支援事業
4月	9	3	1
5月	4	—	—
6月	10	1	4
7月	6	—	—
8月	3	2	3
9月	5	—	—
10月	3	—	—
11月	6	—	—
12月	8	1	—
1月	10	—	—
2月	2	1	2
3月	12	—	—
計	78	8	10

※自立支援計画（プラン）作成件数は、再プラン件数を含む

《相談内容（延数）》

相談内容別 件数	収入・生活費	税金・公共料金の支払い	家賃・ローンの支払い	債務について
	52	16	7	28
	病気・障がい	仕事探し・就職	仕事上の不安やトラブル	子育てについて
	40	15	5	6
	家族関係	DV・虐待	介護	ひきこもり不登校
	27	2	7	8
	地域との関係	食べるものがない	住まい	その他
	2	6	7	8

計 253 件

《支援内容（延数）》

支援内容別 件数	来所	電話	訪問・同行支援	所内会議
	442	568	191	245
	支援調整会議 (プラン策定・評価)	他機関との会議 (支援調整会議除く)	他機関への 電話照会・協議	その他
	32	72	346	24

計 1,920 件

② 支援調整会議の開催

支援調整会議は、相談者に対する自立支援計画（プラン）の適切性の協議、支援決定、終結時の評価、各支援機関による情報共有等を目的に開催しています。

回	日程	内容
第1回	4月24日（水）	・自立相談支援事業による就労支援の決定 3件 ・家計相談支援事業の決定 1件
第2回	6月19日（水）	・自立相談支援事業による就労支援の決定 1件 ・自立相談支援事業による就労支援の終結 1件 ・家計改善支援事業の決定 4件 ・家計改善支援事業の終結 1件
第3回	8月19日（月）	・自立相談支援事業による就労支援の決定 2件 ・自立相談支援事業による就労支援の終結 1件 ・家計改善支援事業の決定 3件
第4回	10月23日（水）	・自立相談支援事業による就労支援の評価 1件 ・自立相談支援事業による就労支援の終結 1件
第5回	12月26日（木）	・自立相談支援事業による就労支援の決定 1件 ・自立相談支援事業による就労支援の終結 2件 ・家計改善支援事業の終結 1件
第6回	2月14日（金）	・自立相談支援事業による就労支援の終結 1件 ・家計改善支援事業の決定 2件 ・家計改善支援事業の終結 1件

2. 地域支援ネットワークの推進

① 生活困窮者自立支援ネットワーク会議の開催

生活困窮者自立支援ネットワーク会議は、関係機関及び関係者のネットワークを構築し、事業に関する情報共有、地域における支援体制の検討を行い、生活困窮者に対する包括的な支援を効果的に実施することを目的に開催しています。

回	日程	内容	出席委員等
第1回	7月17日（水）	1. 平成30年度事業報告について 2. 令和元年度事業計画について 3. 意見交換	ネットワーク会議委員 10名 アドバイザー 3名 オブザーバー 2名 事務局 2名 計 17名